

眩輝

げんき



佐世保市立江迎中学校

学校だより NO. 31

校長 山邊 修治 平成29年12月8日(金)



人権集会



12月4日(月)～10日(日)までは人権週間です。1948年12月10日に国連において「世界人権宣言」が採択されたことを記念して定められました。本年度の啓発活動重点目標は「みんなで築こう、人権の世紀～考えよう相手の気持ち、未来へつなげよう 違いを認め合う心～」です。本校の今年のテーマは「LGBT」について考え、すべての人が自分らしく、楽しく、幸せに暮らしていくためには、どのような考えを持ち、どのように行動すればよいのかについて考えてきました。様々な資料やニュースなどをもとに、各学級で意見を出し合いながら学習をしてきました。集会の中では、アンケート調査の結果などを提示しながら、これまでの学習の成果を発表するとともに、将来自分

たちがどのように行動していかなければならないかを考えることができました。

後半では、人権擁護委員の皆様においでいただき、人権とは何か、人権を守ることの大切さについて、DVD視聴なども交えて講話をしていただきました。子どもたちは真剣な眼差しで講話に聞き入り、いじめも人権侵害であり、決してあってはいけないものであることを改めて確認することができました。これからも子どもたちには、金子みすずさんの詩にある「みんなちがってみんないい」、「違いを認め合う心」を大切に持ち続けてほしいと思っています。



人権週間啓発パレード



人権週間のスタートに合わせ、12月3日(土)にパレードが行われました。松浦町公園をスタートして、サンプラザ、四ヶ町アーケードをパレードしました。人権週間について広く知ってもらうため、市の人権擁護委員の皆さんをはじめとして、教育関係者、PTAの皆さん、企業の代表の皆さんがのぼり横断幕を持って啓発活動を行いました。また、人権作文コークールにおいて優秀な成績を収めた中学生の表彰も行われました。受賞作品の朗読のなかで、いじめによる人権侵害について、一人一人がいじめをしない、させない、見過ごさない気持ちを持ち、いじめられているときは周囲に助けを求めることも大切であると訴えていました。これからも人権週間での様々な取組をとおして、自分や他人の人権、弱い立場の人の人権、そして、世界の人々の人権について深く考え、人権を守り、尊重しあう態度を育てていかなければならないと感じました。